

5 自己点検及び評価シート3

大項目 教育委員会が管理及び執行を教育長に委任する事務

中項目 政策:04 国際交流・地域間交流の推進
 施策:06 交流活動の推進

担当課:生涯学習課

小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
青少年対策事業	1,209 友好姉妹都市との交流を図るため、夏休みを利用し児童・生徒の訪問及び受入れ事業を行った。 ・北海道津別町訪問 経費786 訪問期間 2泊3日(8/12~14) 訪問人数 24名(小学生20名、引率4名) ・東京都小笠原村受入れ 経費224 受入期間 3泊4日(7/29~8/1) 受入人数 24名(中学生19名、引率5名) ・石川県穴水町受入れ 経費199 受入期間 3泊4日(7/30~8/2) 受入人数 25名(小学生20名、引率5名)	3.0	

中項目 政策:17 社会福祉の充実
 施策:28 児童福祉の充実

担当課 教育総務課

小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
幼稚園教育振興事業	17,156(25園 298名) ・幼稚園教育を奨励するため、私立幼稚園の設置者に対して入園料及び保育料の減免を行う場合、私立幼稚園就園奨励費を支給した。 ・保護者の経済的負担の軽減が図られた。 ・国の補助事業であるため、各自治体で実施しているが、補助率が1/3以内ということもあり自治体間で所得制限の基準も補助金額も差がある。本市は財政的な理由により所得基準も補助金も国の基準より低い。	3.2	

中項目 政策:22 生涯学習ネットワークの整備充実
 施策:35 生涯学習システムの推進

担当課:生涯学習課

小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
公民館運営費	1,593 ○公民館運営管理事業 公民館館長・主事が主体となって各地区(6地区)において生涯学習等に関する公民館事業(教室、講演会、講座等)を実施し、常に市民が利用するための場を提供した。 ・市内中央公民館6館、地区分館3館での事業運営経費 50 ※各地区事業開催延べ19事業実施、延べ参加者数1,003名 ・白根中央公民館維持管理経費 443 ※H25年度利用者数利用者 5,155名 ・公民館運営審議会委員(8名)報酬 198 ・館長・分館長・主事(51名)報償 735 ○豊文化教室運営管理事業 ・指定管理施設である豊文化教室(陶芸、軽音楽)の維持管理経費 ・指定管理者 榊形地区文化協会陶芸部 ・指定管理期間 10年間(H18~H27) ・指定管理委託料 150 ※H25年度利用者数 889名 ○山梨県公民館連絡協議会 16	3.0	
生涯学習推進事業	2,908 ○生涯学習講座の開催 講師料、消耗品、保険料等 1,107 市民が自由に学習機会を選択し学ぶことができるよう、年間を通して各種講座を開催した。(講師謝金32講座、全講座45講座) ・親子の講座:陶芸教室、望遠鏡作り教室、ケーキ作り教室等 ・教養講座:パソコン教室、野菜作り教室、整理収納講座、大人のマナー講座等 ・趣味の講座:寄せ植え教室、料理教室、星の観望会等 ・子ども講座:書道教室、マジック教室 ※各種講座延べ参加者数 782名(大人601名、子供181名) ○社会教育委員(20名)報酬402 ○社会教育関係団体活動支援(地域団体23団体)1,168 ○山梨県社会教育委員連絡協議会負担金 17 ○その他経費(公用車リース料他) 215	3.0	

中項目 政策:22 生涯学習ネットワークの整備充実
 施策:35 生涯学習システムの推進

担当課:生涯学習課

小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
八田高度農業情報センター管理費	17,900 市の生涯学習を推進していくため指定管理者制度の導入を図り、公募により管理者を指定している。生涯学習施設の効率的な運用を推進し施設の維持管理に努め、常に市民が利用し生涯学習の場を提供した。 ・指定管理者 (株)ホンダショップ山梨 ・指定管理期間 3年間(H23～H25) ・指定管理委託料 17,600 ・駐車場用地賃借料 300 ※H25年度利用者数 36,755名	3.4	
若草生涯学習センター管理費	11,110 市の生涯学習を推進していくため指定管理者制度の導入を図り、公募により管理者を指定している。生涯学習施設の効率的な運用を推進し施設の維持管理に努め、常に市民が利用し生涯学習の場を提供した。 ・指定管理者 シャンブレイ ・指定管理期間 3年間(H23～H25) ・指定管理委託料 11,110 ※H25年度利用者数 79,220名	3.6	
楡形生涯学習センター管理経費	18,501 市の生涯学習を推進していくため指定管理者制度の導入を図り、公募により管理者を指定している。生涯学習施設の効率的な運用を推進し施設の維持管理に努め、常に市民が利用し生涯学習の場を提供した。 ・指定管理者 (財)桃源文化振興協会 ・指定管理期間 3年間(H23～H25) ・指定管理委託料 17,579 ・駐車場用地借地料 786 ・駐車場除雪作業代 137 ※H25年度利用者数 33,013名	3.2	
甲西農村環境改善センター管理費	8,300 市の生涯学習を推進していくため指定管理者制度の導入を図り、公募により管理者を指定している。生涯学習施設の効率的な運用を推進し施設の維持管理に努め、常に市民が利用し生涯学習の場を提供した。 ・指定管理者 (株)共立メンテナンス ・指定管理期間 3年間(H23～H25) ・指定管理委託料 8,300 ※H25年度利用者数 21,068名	3.2	
芦安高齢者コミュニティセンター管理費	261 市民が自主的な生涯学習等の講座(集会)を開催できるように施設の場を提供した。また施設維持管理に努め、市民がいつでもどこでも必要ときに生涯学習が行える環境を整えた。(主な利用:夜叉神太鼓保存会及び芦安中学生による太鼓の練習、社会福祉協議会によるおやつ作り) ※H25年度利用者数 631名	3.0	施設の老朽化が著しく安全性に不安がある。

中項目 政策:22 生涯学習ネットワークの整備充実
 施策:35 生涯学習システムの推進

担当課:生涯学習課

小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
白根コミュニティー館管理費	328 市民が自主的な生涯学習等の講座(集会)を開催できるように施設の場を提供した。また施設維持管理に努め、市民がいつでもどこでも必要ときに生涯学習が行える環境を整えた。(主な利用:文化団体、生涯学習サークル、地域団体の会議、研修会等) ※H25年度利用者数 7,356名	3.2	
ふるさと天文館管理費	685 第1、第3土曜日に大型望遠鏡を活用した観望会を開催している。また、市内小学校の施設見学、生涯学習講座(望遠鏡作り・星座観望会・ふたご座流星群を見る会)等に利用された。市民が必要ときに利用できるように施設維持管理に努め、生涯学習が行える環境を整えた。 ※H25年度利用者数 404名	3.0	利用者が昨年より激減している。今後の方向性を考え、有効活用を図ってほしい。
楡形北地区農村環境改善センター管理費	2,540 市の生涯学習を推進していくため指定管理者制度の導入を図り、特定指定として楡形北地区(曲輪田、上宮地、桃園3地区)で組織した運営委員会が施設の運営管理を行っている。生涯学習施設として効率的な運用を推進し、施設の維持管理に努め、常に市民が利用しやすい生涯学習の場を提供した。 ・指定管理者 楡形北地区農村環境改善センター運営委員会 ・指定管理期間 10年間(H18~H27) ・指定管理委託料 2,540 ※H25年度利用者数 14,756名	3.0	
楡形西地区農村環境改善センター管理費	2,340 市の生涯学習を推進していくため指定管理者制度の導入を図り、特定指定として楡形西地区(高尾、平岡、上市之瀬等7地区)で組織した運営委員会が施設の運営管理を行っている。生涯学習施設として効率的な運用を推進し、施設の維持管理に努め、常に市民が利用しやすい生涯学習の場を提供した。 ・指定管理者 楡形西地区農村環境改善センター運営委員会 ・指定管理期間 10年間(H18~H27) ・指定管理委託料 2,140 ・施設用地借上料(妙了寺) 200 ※H25年度利用者数 9,107名	3.0	
南アルプス市働く婦人の家管理費	3,351 市の生涯学習を推進していくため指定管理者制度の導入を図り、特定指定として楡形豊地区(上今井、吉田、十五所、沢登4地区)区長会が施設の運営管理を行っている。生涯学習施設として効率的な運用を推進し、施設の維持管理に努め、常に市民が利用しやすい生涯学習の場を提供した。 ・指定管理者 豊地区区長会 ・指定管理期間 10年間(H18~H27) ・指定管理委託料 3,351 ※H25年度利用者数 26,363名	3.0	

中項目 政策:22 生涯学習ネットワークの整備充実
 施策:35 生涯学習システムの推進

担当課:市立図書館

小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
八田ふれあい 図書館運営費	1,625 高度農業情報図書館として、専門書からガーデニングなどの一般書まで農業に関する資料を多く収集・提供している。地域の情報の拠点として、農業講座の開催や施設への団体貸出(毎月)など、市民の暮らしに役立つ図書館として運営してきた。また、情報ネットワークセンターの活用していないパソコンの廃棄を行い「児童室」として整備し、おはなし会や工作教室等を開催し参加者から好評を得た。 ○利用状況 貸出資料数 57,375点 (1日平均 202点) ○主な事業 一般向け ・農業講座、朗読会(2回) 参加者 延べ 52名 ・読み聞かせ講座(3回) 参加者 延べ 50名 児童向け ・おはなし会(22回)、団体利用時おはなし会(4回) 参加者 延べ 567名 ・おはなし会出前サービス(保育所・児童館) 参加者 延べ 196名 ・春の子ども読書まつり(児童館と合同) 参加者 延べ 86名 ・工作教室(10回)、親子工作教室 参加者 延べ 153名 ・夏休み子ども教室(科学実験遊び・エコ工作・映画会・感想文おたすけ隊・子どもボランティア) 参加者 延べ 119名 ・秋の子どもフェスタ ライライをさがせ! 参加者 59名 ・市立図書館クリスマス会 参加者 284名 ○需用費 998(雑誌・新聞費、図書館・事務消耗品 等) ○役務費 606(通信運搬費・車検手数料・自動車保険料) ○使用料及び賃借料 22(リース料)	3.0	

中項目 政策:22 生涯学習ネットワークの整備充実
 施策:35 生涯学習システムの推進

担当課:市立図書館

小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
白根桃源図書館運営費	2,682 地域の情報拠点として、市民の要望に応えられるよう資料を収集・整理・保存をしてきた。地域の特徴から健康・福祉に関する資料や俳人福田甲子雄氏に関する資料を収集し、「子ども俳句教室」を開催した。独立館のため、施設維持管理の費用が図書館予算に計上されている。 ○利用状況 貸出資料数47,890点(1日平均169点) ○主な事業 一般向け ・朗読会(2回) 参加者 延べ 59名 ・朗読入門講座(5回) 参加者 延べ 73名 児童向け ・おはなし会(20回)・おはなし会012(12回) 参加者 延べ 435名 ・おはなし会と工作教室(3回) 参加者 延べ 61名 ・春の子ども読書まつり(児童館と合同) 参加者 延べ 60名 ・夏休み子ども教室(子ども俳句教室・親子手づくり絵本・子どもボランティア) 参加者 延べ 105名 ・おはなし会出前サービス(福祉施設訪問・保育所・児童館)17回 参加者 延べ1036名 ・秋の子どもフェスタライライをさがせ! 参加者 60名 ○需用費 1,941(雑誌・新聞、光熱水費、図書館用品等) ○役務費 247(通信運搬費、手数料) ○委託料 283(施設警備・館内清掃・消防設備点検) ○使用料及び賃借料 172(CATV使用料、公用車・清掃用具・植物リース料) ○備品購入費 39(DVDレコーダー)	3.0	施設も老朽化し、他にも課題がある。今後の方向性を検討すべきである。
わかくさ図書館運営費	1,042 特色ある資料(自然保護・環境)の収集・提供やエコ工作教室等の事業で多くの参加者を得ている。市民の暮らしに役立つ資料を提供し、地域の情報の拠点として運営している。 ○利用状況 貸出資料数 64,683点(1日平均 228点) ○主な事業 一般向け ・工作教室(1回)・朗読会(2回) 参加者 延べ 81名 児童向け ・おはなし会 参加者 延べ 1,021名 春・夏のスペシャル・おはなし会0.1.2.(12回)・おはなし会(24回) ・七夕工作教室 参加者 延べ 40名 ・夏休み子ども教室 参加者 延べ 68名 エコ工作・子どもボランティア・安藤家 ・秋の子どもフェスタライライをさがせ! 参加者 66名 ・おはなし会出前サービス 参加者 延べ 717名 小学校(6回)・児童館(2回)・福祉施設(2回) ・子ども映画会 参加者 108名 ・親子ふれあい事業 参加者 77名 ○需用費 792(雑誌41誌・新聞5誌購入費・図書消耗品) ○役務費 54(電話料・タイヤ交換料) ○使用料及び賃借料 197(印刷機・清掃用具)	3.6	

中項目 政策:22 生涯学習ネットワークの整備充実
 施策:35 生涯学習システムの推進 担当課:市立図書館

小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
櫛形図書館運営費	<p>45,958</p> <p>市内図書館の中央館機能を持つ図書館として、市民の暮らしに役立つ最新情報や資料を提供している。また、市民の読書活動や学習活動を高めるために講座や講演会等の開催と子どもの発達段階に応じた読書支援を行った。第二次子どもの読書活動推進計画の成果と課題を踏まえ、子どもの読書活動を家庭、地域、学校等と連携を図りながら推進した。</p> <p>○利用者状況 貸出資料数 187,977点 (1日平均 667点)</p> <p>○主な事業</p> <p>一般向け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館講座(1回) 参加者 延べ 36名 ・シニア講座(4回) 参加者 延べ 67名 ・絵本の読み聞かせ講座 参加者 12名 ・朗読会(4回) 参加者 延べ 239名 ・桃源文化振興協会合同事業 参加者 221名 ・ブックスタート(24回) 参加者 延べ 546名 ・映画会(1回) 参加者 115名 <p>児童向け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そよかぜこどもまつり 参加者 67名 ・秋の子どもフェスタ講演会 参加者 274名 ・秋の子どもフェスタ <small>ライライをさがせ!</small> 参加者 延べ 161名 ・工作教室(2回) 参加者 延べ 106名 ・映画会(1回) 参加者 延べ 85名 ・読書感想文おたすけ隊 参加者 15名 ・おはなし会(61回) 参加者 延べ 942名 ・児童館のおはなし会・夏祭り 参加者 延べ 113名 ・団体貸出 年12回(保育所4箇所と福祉施設1箇所に本の貸出し) 年 4回(福祉施設3箇所に本の貸し出し) ・市制10周年企画展・秋の子どもフェスタ企画展示・川端誠氏絵本原画展の開催 <p>○報酬 141(図書館協議会委員10名)</p> <p>○賃金 34,492(臨時職員・パート・アルバイト)</p> <p>○報償費 540(絵本ライブ・各種講座講師謝金等)</p> <p>○旅費 150(図書館講演会等講師旅費・職員県外研修5名)</p> <p>○需用費 3,629(雑誌134誌・新聞16紙・ブックスタート事業等)</p> <p>○役務費 1,416(電話料・資料マーク代・整備代等)</p> <p>○委託料 3,616(図書館システム・マーク保守)</p> <p>○使用料等 1,910(図書館コンピュータ・コピー機リース料等)</p> <p>○負担金等 61(日本図書館協会会費・県公共図書館協会負担金)</p>	3.6	<p>・図書や資料の提供市民ニーズに即した事業や講座等また子どもの読書活動推進に大きい役割をはたしている。</p> <p>・利用者増加への取組が評価できる。</p>

中項目 政策:22 生涯学習ネットワークの整備充実
 施策:35 生涯学習システムの推進 担当課:市立図書館

小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見																				
図書館資料購入費	<p>18,948</p> <p>市民の学習要求の多様化・高度化に伴い、最新資料や情報を整備し、資料提供によって市民の学習意欲の喚起や読書の普及を図った。</p> <p>地域住民が必要として役に立つ資料を中心に、新鮮で魅力ある情報を市民に提供できるよう、各館の司書全員で資料を選定し、週1回担当者による選書会議で検討した上で、地元書店組合から購入した。</p> <p>市内図書館の資料が、幅広い蔵書内容になるように努めた。地域の特性を活かしながら各館で特色ある蔵書構成を行い、楡形図書館は地域資料及び中央館としての総合収集、八田ふれあい図書館は農業関係資料、白根桃源図書館は治水・福祉関係、わかくさ図書館は環境関係資料、甲西図書館は子育て関係資料なども整備した。</p> <p>図書購入数は10,829冊(蔵書数334,431冊、視聴覚資料購入数は114点(蔵書数7,854点)で市民一人当たりの資料数は4.69点であった。貸出資料数は413,845点(市民一人当たりの貸出資料数は5.67点)であった。</p> <p>大活字本・朗読録音CD・視覚障害者用デジタル資料も購入し、市民が等しく知的資料を利用できる環境を整えてた。</p> <p>○図書購入数</p> <table border="0"> <tr> <td>八田ふれあい図書館</td> <td>1,481冊(内児童書 542冊)</td> </tr> <tr> <td>白根桃源図書館</td> <td>1,523冊(内児童書 544冊)</td> </tr> <tr> <td>わかくさ図書館</td> <td>1,556冊(内児童書 517冊)</td> </tr> <tr> <td>楡形図書館</td> <td>4,712冊(内児童書 975冊)</td> </tr> <tr> <td>甲西図書館</td> <td>1,557冊(内児童書 603冊)</td> </tr> </table> <p>○視聴覚資料</p> <table border="0"> <tr> <td>八田ふれあい図書館</td> <td>12点</td> </tr> <tr> <td>白根桃源図書館</td> <td>14点</td> </tr> <tr> <td>わかくさ図書館</td> <td>12点</td> </tr> <tr> <td>楡形図書館</td> <td>60点</td> </tr> <tr> <td>甲西図書館</td> <td>16点</td> </tr> </table> <p>○備品購入費 18,948(図書・視聴覚資料)</p>	八田ふれあい図書館	1,481冊(内児童書 542冊)	白根桃源図書館	1,523冊(内児童書 544冊)	わかくさ図書館	1,556冊(内児童書 517冊)	楡形図書館	4,712冊(内児童書 975冊)	甲西図書館	1,557冊(内児童書 603冊)	八田ふれあい図書館	12点	白根桃源図書館	14点	わかくさ図書館	12点	楡形図書館	60点	甲西図書館	16点	3.6	各館の特色ある蔵書を心がけ整備に心かけている。
八田ふれあい図書館	1,481冊(内児童書 542冊)																						
白根桃源図書館	1,523冊(内児童書 544冊)																						
わかくさ図書館	1,556冊(内児童書 517冊)																						
楡形図書館	4,712冊(内児童書 975冊)																						
甲西図書館	1,557冊(内児童書 603冊)																						
八田ふれあい図書館	12点																						
白根桃源図書館	14点																						
わかくさ図書館	12点																						
楡形図書館	60点																						
甲西図書館	16点																						

中項目 政策:22 生涯学習ネットワークの整備充実
 施策:35 生涯学習システムの推進

担当課:市立図書館

小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
楡形図書館芦安分館	64 週2回(火・金)午後1時～5時開館 地域住民とのふれあいを図り、秋のお楽しみ会は保育所・小学校・高齢者が交流し、芦安ならではの楽しみ会を行った。また、生きがい活動支援通所事業は高齢者への朗読会を行った。 ○利用者状況 貸出資料数 1,116点(1日平均 12点) ○主な事業 一般向け ・新緑やまぶき祭参加 参加者 200名 ・生きがい活動支援通所事業 参加者 延べ123名 (毎月第2・4水曜日)20回 児童向け ・夏休み子ども映画会 参加者 7名 ・秋のお楽しみ会 参加者 25名 ・冬休み工作教室 参加者 6名 ○需用費 64(消耗品・雑誌購入費7誌等)	3.0	
甲西図書館運営費	910 特色ある資料(子育て支援・児童書)の収集・提供や、国際交流協会と合同の外国語のおはなし会、児童館との合同おはなし会などの事業を行ってきた。また、市民の暮らしに役立つ資料を提供し、地域の情報拠点として運営してきた。 ○利用状況 貸出資料数 54,804点(1日平均 193点) ○主な事業 一般向け ・朗読会(2回)・安藤家朗読会 参加者 延べ 86名 児童向け ・春のおはなし会スペシャル 参加者 60名 ・おはなし会(60回) 参加者 延べ 1,034名 (ふれあい・0.1.2) ・外国語のおはなし会(2回) 参加者 延べ 98名 ・夏休み子ども教室 参加者 延べ 48名 (詩を楽しむ会・子どもボランティア) ・おはなし会出前サービス(保育所・児童館) 参加者 82名 ・秋の子どもフェスタ ライライをさがせ! 参加者 54名 ・市民活動フェスタ 参加者 160名 ○需用費 756(雑誌43誌・新聞6紙・消耗品) ○役務費 35(FAX回線料等) ○使用料及び賃借料 119(公用車リース等)	3.0	

中項目 政策:22 生涯学習ネットワークの整備充実
 施策:35 生涯学習システムの推進

担当課:市立美術館

小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
美術館運営事業	20,797 美術館の環境を整備し、来館者が気持ちよく作品や施設(庭等含む)を観覧できるようにした。 また、収蔵作品がよい状態で保管ができるように維持管理を行った。 ・春仙美術館 18,906 ・白根桃源美術館 1,891	3.0	
美術館常設展事業	4,548 ○春仙美術館 名取春仙の作品を中心に、同時代に活躍した作家や現代作家、山梨に縁のある作家の展示を行った。 ・展覧会日数 :213日間 ・入館者数 :3,641名 ・入館料 :152,130円 ・春仙美術館主催事業版画講座2日間で15名 ・夏祭り「春仙美術館夏の夕べ」:697名 ・ワークショップ 8回:482名 ・第3回南アルプス市絵画コンクール 2,736点の出品 ○白根桃源美術館 平成25年度より市民ギャラリーとして貸出した。 ・貸出団体数 :6団体 ・貸出日数 :100日間 ・自主企画 :67日間 ・入館者数 :1,909名	3.4	絵画コンクールへの参加数の増加とともに入館者数も増加している。
美術館企画展事業	9,342 多くの市民が優れた作品を鑑賞できるように企画展を開催した。 ○春仙美術館企画展事業 「萩原英雄の世界展」 ・開催日数 :45日間 ・入館者数 :2,237名 ・入館料 :116,500円 ・美術講演会入館者数:37名	3.0	萩原英雄氏の寄贈された作品が今後も折に触れて展示され市民に親しまれることを期待する。

中項目	政策:23 学校教育の充実 施策:36 『生きる力』を育む学校教育の推進	担当課	教育総務課
小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
教育委員会経費	1,529 ・教育委員会の円滑な運営を図り、教育行政の基本方針や施策について審議し、決議した。 ・教育振興推進のため、その使命と責務に努めた。 ○報酬 1,076(教育委員報酬) ○旅費 97(県外研修旅費) ○交際費 134(祝儀・香典等) 28件 ○使用料 91(県外研修車借上料) ○負担金 133(法令外負担金)	3.6	
一般管理事務経費	352,104 教育委員会事務局組織に必要な事項を定め、所管事務を明確にし、教育行政事務の適正と効率的な運営を行った。 主な事業は以下のとおりである。 ○賃金 218,707(市単臨時雇用等) 補助教員・司書・栄養士・単独校調理員・用務員 等 ○報償 18,354(学校医報酬・就学児健診医師報酬) ○需用費 4,292(消耗品・燃料費・印刷製本費 等) ○役務費 3,089(郵送料・口座振替手数料・保険料) ○委託料 79,030(二次ネット整備・学校職員健診・学校環境検査) ○使用料等 6,857(学校図書館システム・公用車・AED等リース) ○負担金等 20,994(各種負担金・学校給食助成金)	4.0	市単講師の採用は、学校現場において有意義であり、今後も継続をお願いする。
育英奨学会事業経費	11,550 ○小林愛則育英奨学金 700 給付額は、年間一人10万円を1学年3名を限度とし3年間給付した。 平成25年度は7名に授与し、勉学の励みになった。 ○南アルプス市奨学金 10,010 向学意欲はあるが経済的理由で就学困難な者へ貸付ける(年間:高校生12万・大学生30万)。平成25年度は高校生3名、大学生33名 ○芦安活性化対策育英奨学金 840 芦安地区から高等学校等に通学するため、奨学金を希望する者に対して年間12万円を貸与した。平成25年度貸与者は7名。	3.0	芦安育英奨学金は南アルプス奨学金に含めるべきだと考える。
芦安南アルプスチロル学園運営事業	1,166 平成24年度再配置検討委員会答申により平成25年度山村留学制度を廃止した。 空き施設を、芦安地区育成会・芦安中保護者会の交流会及び武蔵野東学園技能高等専修学校の農業従事研修に貸し出しを行った。 ・歳入:学園使用料等 308千円 ・歳出:臨時職賃金、光熱水費等 1,166千円	3.2	活用先として武蔵野東学園が決まることは財政的な面だけでなく芦安地区の活性化にも寄与する有意義なものであり、今後の継続を期待する。

中項目	政策:23 学校教育の充実 施策:36 『生きる力』を育む学校教育の推進	担当課	教育総務課
小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
就学援助事業 (小学校)	27,124 (要保護児童5名、準要保護児童367名、特別支援教育就学奨励児童38名) ・就学に困難な児童に対して、学用品費等を援助することにより義務教育の円滑化を図る。また、特別支援学級に通う児童に対して保護者の負担能力に応じ経済的負担を軽減する就学支援を行った。 ・対象児童の保護者の経済的負担の軽減が図られた。	3.6	申請の認可については基準に従い慎重に審議した。
小学校 教育振興費	74,945 ・市内小学校15校の振興運営を行う。特色ある学校教育づくり、総合的な学習充実、教育課程を実施することができた。 ・市内小学校15校の振興運営を行うことで、特色ある学校教育づくり、教育課程を実施することができた。(教材補助、各種検査料、教材備品購入、校外行事補助、地域ふれあい道徳推進)	3.6	各校の教育振興に多大な効果があり特色ある学校づくりに貢献している。
就学援助事業 (中学校)	28,114 (要保護生徒3名、準要保護生徒271名、特別支援教育就学奨励生徒17名) ・就学に困難な生徒に対して、学用品費等を援助することにより義務教育の円滑化を図る。また、特別支援学級に通う児童に対して保護者の負担能力に応じ経済的負担を軽減する就学支援を行った。 ・対象生徒の保護者の経済的負担の軽減が図られた。	3.4	
中学校関東大会・全国大会 支援事業	10,830 ・文化部、体育部で参加する関東、全国大会に参加するための経費を補助することで、生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、体力、技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り心身ともに健康な生徒の育成ができた。	3.4	支援基準を見直し適正な支援体制となった。
中学校 教育振興費	72,315 ・市内中学校7校の振興運営を行う。特色ある学校教育づくり、総合的な学習充実、教育課程を実施することができた。 ・市内中学校7校の振興運営を行うことで、特色ある学校教育づくり、教育課程を実施することができた。(教材備品、各種検査料、教材備品購入、校外行事補助、地域ふれあい道徳推進)	3.6	各校の教育振興に多大な効果があり特色ある学校づくりに貢献している。

中項目	政策:23 学校教育の充実 施策:36 『生きる力』を育む学校教育の推進		担当課	教育総務課
小項目	実績 (単位:千円)		評点	意見
単独校給食運営経費	177,207 学校給食を安心安全に提供するための事業。 児童生徒の食物アレルギーへの対応や、食育指導を行った。地産産の食材をより多く取り入れるため、市栄養士部会で視察等を行い新規の納入業者の開拓に努めた。 (給食業務を単独運営している学校の運営費用集計) 小笠原小 32,780 対象 626名 年間 119,666食 楡形北小 15,626 対象 294名 年間 55,975食 楡形西小 7,503 対象 136名 年間 26,748食 豊小 17,219 対象 323名 年間 60,381食 落合小 9,279 対象 191名 年間 35,617食 南湖小 13,974 対象 268名 年間 50,849食 甲西大明共同調理場 39,725 対象704名 年間131,640食 楡形中 41,101 対象726名 年間 131,282食		4.0	地産地消やアレルギーへの対応また安全な食育推進に努力している。
給食センター運営経費	315,262 学校給食を安心安全に提供するための事業。食文化の多様化による児童のアレルギー食の対応や、食育指導を行った。また食材の購入については複数の業者から見積りを徴し、最安値の業者と月ごとに契約を行った。地産地消の食材についても、より多く取り入れるため、市栄養士部会で視察等を行い新規の納入業者の開拓に努めた。 (白根・八田給食センター及び若草学校給食センターの運営費集計) ・白根・八田給食センター 212,474 対象2,809名 年間530,901食 ・若草学校給食センター 102,788 対象1,477名 年間290,172食		3.8	地産地消やアレルギーへの対応また安全な食育推進に努力している。

中項目	政策:23 学校教育の充実 施策:36 『生きる力』を育む学校教育の推進		担当課:南アルプス教育推進課
小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
外国語指導講師配置事業	32,036 ・9名の外国語指導助手(ALT)を配置し、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上と、国際理解の充実を図った。 ・小学校外国語活動研修を行い、小学校教職員の指導内容の充実を図るとともに、ALT指導研修等を行いALTの指導内容の向上も図った。	4.0	・定期的にALT研修会を行い、効果をあげている。派遣会社の対応が前向きである。 ・ALT配置は今後一層必要となる。 ・派遣会社が改善されより安定的に充実した英会話授業が行われるようになった。
市指定研究事業	416 ○学びの質を高める授業づくり推進事業 ・新学習指導要領に沿った「習得」「活用」「探求」を意識した学習を進めるために、日常的な授業を見つめ直し、児童・生徒がお互いの考えや表現を聴き合い・学びあう質の高い学びを保障する授業づくりを進めるために、指定校3校の研究の視点と狙いを明確にし研究について支援を行った。 指定校3校(小笠原小・若草小・八田中) 142 ○南アルプス自然体験推進事業 (指定校 芦安小・芦安中) ・今事業の指定校は、自然体験学習等の実績が認められ、ユネスコスクールに認定されている。南アルプスの自然の素晴らしさを知り、豊かな感性を育て、仲間作りの大切さを学ぶ体験活動を実施した。 ・芦安中学校 登山体験(鳳凰三山) ・芦安小学校 自然体験活動(ウッドビレッジ伊奈ヶ湖キャンプ) 147 ○芦安教育推進事業 ・英会話・自然体験・地域に密着した学習活動など特色ある芦安教育を多くの方に知っていただくための公開授業・学校説明会を開催した。 1,605 ○いじめ不登校未然防止推進事業 ・いじめ・不登校の未然防止の観点から、教員が客観的に学級の状態を把握できるQ-Uテストを実施した。 対象学年 全小学校3年生、5年生 全中学校1年生 年2回のQUテスト実施(中学生は2回目はHPQUテスト) ・指定校5校においては、山梨大学臨床心理士の指導を元に、心理プログラムを導入し、支援が必要な児童生徒への対応を行った。 2,543 ○小笠原流礼法 ・市の政策方針5つの基本政策である、ふるさとを愛し、礼儀正しく、たくましく、世界に羽ばたく「南アルプスの子」を育成する。小中学校において「小笠原流礼法」を導入し道徳教育を推進していくため、教職員を対象とした研修会とともに、市内22校、全クラスに師範を講師として招聘し授業として取り入れた。 291 ○市姉妹都市交流プロジェクト推進事業 ・国際化が進み、話せる英語を身につける必要性が求められている。外国語や異文化に興味を持ち、外国語の授業へのモチベーションをアップさせるための「小学生対象の英語体験プログラム」を実施した。 (参加者 80名)	4.0	・研究指定校が中心となり、課題解決・授業作りを進めている。 ・芦安小中への英会話科の導入・22校への小笠原流礼法の導入により南ア市教育の1つの方向性が示された年度となった。 ・22校へのALT派遣と夏休みに行われたイングリッシュキャンプでのALTと小学生の交流事業と国際化に向けて有効的であった。 ・研究指定を受けることにより一層授業改善や児童生徒理解が図られ大きな成果を上げている。公開研究発表会を通して成果が共有され市内各校の教育実践に大いに役立っている。

中項目 政策:23 学校教育の充実
 施策:36 『生きる力』を育む学校教育の推進 担当課 南アルプス教育推進

小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
南アルプス市教育支援センター事業	8,454 ・様々な背景により諸問題を抱えた児童生徒やその保護者に対応するため、臨床心理士を委嘱し、専門的なアドバイスやカウンセリングを行った。(臨床心理士 週2日勤務) ・学校へ登校することが困難な児童生徒が通う適応指導教室(通称:ウイング)では、学校復帰を目指し、家庭・学校等と連携し、学習支援や教育相談を行った。 支援センター利用者状況 入級登録者数 24人(1日平均登所者数約7.5人) (学校復帰者 5名 高校進学者 7名) 教育相談件数 823件	3.0	・南アルプス市独自で不適校児対象とした適応指導教室を設置していることは本当に素晴らしい。継続をお願いします。 ・特別支援を要する児童生徒にきめ細かく対応し、学校・課程とも連携を蜜にとり成果を上げている。
地域ぐるみの学校安全体制整備事業(スクールガードリーダー・学校応援団に関する事)	608 ○スクールガードリーダー事業 ・学校安全管理の一層の充実を図ることを目的とし市内に4名のスクールガードリーダーを委嘱し、児童・生徒が学校や通学路において安心して学習に取り組めるよう、学校巡回指導・学校施設整備の点検・放課後における安全パトロール・通学路の安全点検・児童生徒への安全指導を行った。 621 ○南アルプス市学校応援団事業 ・地域全体で学校教育を支援する体制づくりを構築し、学校応援団を組織し、市内の各中学校区(7)において地区代表・コーディネーターを中心に活動を実施した。 ・それぞれの地区において、教育的ニーズに対応できるボランティアを募集し、ボランティア活動を実施した。 (ボランティア登録者数 H25年度末 606人)	3.0	スクールリーダーを中心に児童生徒の登校が安心・安全なものになり有効な事業になっている。 ・学校応援団事業については、各学校でニーズに応じて対応していることが多いので事務局のあり方を検討する必要がある。

中項目	政策:23 学校教育の充実 施策:37 学校施設の整備・充実		担当課	教育総務課
小項目	実績	(単位:千円)	評点	意見
小学校管理費	150,153	<ul style="list-style-type: none"> 市内小学校15校の管理運営を行う。児童が安全に伸びやかに過ごせる学習環境の整備と充実を図ることができた。 市内15校の管理運営を行うことで、学習環境の整備と充実を図ることができた。(学校修繕料、管理備品の購入、光熱水費、委託料等) 老朽化の進んでいる学校については、学習環境の整備のための管理費(修繕料)等の経費が必要になる。 	3.4	学級数増加への対応を見通しをもって行っている。
中学校管理費	77,618	<ul style="list-style-type: none"> 市内、中学校7校の管理運営を行う。生徒が安全に伸びやかに過ごせる学習環境の整備と充実を図ることができた。 市内中学校7校の管理運営を行うことで、学習環境の整備と充実を図ることができた(学校修繕料、管理備品購入、光熱水費、委託料等) 老朽化の進んでいる学校については、学習環境の整備のための管理費(修繕料)等の経費が必要になる。 	3.4	学級数増加への対応を見通しをもって行っている。
単独校給食施設維持管理費	18,612	<p>学校給食を安心安全に児童に提供するため、給食施設及び厨房備品の維持管理を行った。</p> <p>厨房器機の故障などはすぐに業者発注するのではなく、職員が修理を行ない、それでもムリな場合は、他の給食施設から不要なものをまわすなどして対応した。</p> <p>(給食業務を単独運営している学校の施設維持費用集計)</p> <p>燃料費・修繕費・点検料・維持管理委託料 等</p> <p>小笠原小 3,300 楡形北小 1,992 楡形西小 1,269 豊小 2,039 落合小 1,767 南湖小 2,391 甲西大明共同調理場 3,593 楡形中 2,261</p>	3.8	
給食センター施設維持管理費	57,959	<p>学校給食を安心安全に児童に提供する給食施設及び厨房備品の維持管理を行った。厨房器機の故障などはすぐに業者発注するのではなく、職員が修理を行ったり、他の給食施設から不要なものをまわすなどして対応した。</p> <p>(白根・八田給食センター、芦安学校給食センター及び若草学校給食センターの維持管理費集計)</p> <p>燃料費・修繕費・点検料・維持管理委託料 等</p> <p>・白根・八田給食センター 42,525 ・芦安学校給食センター 418 ・若草学校給食センター 15,016</p>	3.4	

中項目 政策:23 学校教育の充実
 施策:37 学校施設の整備・充実

担当課 教育総務課

小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
新学校給食センター建設事業	45,206 新学校給食センター建設委員会を開催し、施設の規模内容の承認を得た。 ・建設委員経費 192 新給食センター建設のため、基本設計・実施設計を行った。また、建設予定地の建物の撤去を行った。 ・基本設計業務委託 10,080 ・実施設計業務委託 25,704 ・解体・ネットワークほか設計委託 958 ・建設予定地 既存建物撤去工事 8,272	3.2	建設に関わる施設規模や場所など多くの課題を乗り越えて今後より良い給食運営の見通しが立った。
小学校施設設備整備事業(単独)	60,040 小学校(15校)の既存する施設及び設備について、耐震補強及び改修を最優先に実施する中で、経年劣化等に伴う施設改修や設備更新を行っており、学校間の格差を是正し、学校施設の耐久性を計画的に向上することができた。 ・修繕料 44件 11,913 ・白根百田小屋外プール改修工事 8,374 ・芦安小階段室屋根改修工事 2,069 ・小笠原小フェンス設置工事 3,917 ・楡形北小図書室床改修工事 2,384 ・落合小床改修工事 7,088 ・大明小屋根防水改修工事 3,570 ・大明小屋外小プール改修工事 3,140 ・他17件 17,585	4.0	緊急性のあるものに、素早く対応している。
非構造部材耐震化事業(小学校施設)	3,184 小学校施設の天井材落下や外装材等などいわゆる「非構造部材」の耐震化点検を実施した。 ・非構造部材耐震化調査業務委託 3,184	3.8	安心安全な環境づくりの推進を期待する。
若草小校舎屋上防水改修事業	26,859 校舎屋上防水シートから、雨漏りがしているので、改修工事を実施した。 ・若草小校舎屋上防水改修工事設計監理業務委託 714 ・若草小校舎屋上防水改修工事 26,145	3.8	
白根東小学校校舎トイレ増築事業	25,363 児童数が増えているため、トイレの増設を実施して不足状態を回避した。 ・白根東小学校便所他増築工事設計監理業務委託 3,098 ・白根東小学校便所増築工事 21,748	4.0	学校現場で環境が良くなっている。
白根飯野小校舎屋上防水改修事業	19,601 校舎屋上防水シートから、雨漏りがしているので、改修工事を実施した。 ・白根飯野小校舎屋上防水改修工事設計監理業務委託 701 ・白根飯野小校舎屋上防水改修工事 18,900	3.8	

中項目 政策:23 学校教育の充実
 施策:37 学校施設の整備・充実

担当課 教育総務課

小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
中学校施設設備整備事業(単独)	28,339 中学校(7校)の既存する施設及び設備について、耐震補強及び改修を最優先に実施する中で、経年劣化等に伴う施設改修や設備更新を行っており、学校間の格差を是正し、学校施設の耐久性を計画的に向上することができた。 ・修繕料 16件 3,711 ・若草中学校プレハブ教室リース 336 ・若草中渡廊下他外壁補修工事 1,617 ・若草中屋外プールサイド修繕工事 7,525 ・楡形中屋上防水補修工事 4,158 ・他9件 10,992	4.0	緊急性のあるものに、素早く対応している。
非構造部材耐震化事業(中学校施設)	1,476 中学校施設の天井材落下や外装材等などいわゆる「非構造部材」の耐震化点検を実施した。 ・非構造部材耐震化調査業務委託 1,476	3.6	安心安全な環境づくりの推進を期待する。
白根御勅使中学校屋内運動場改築事業	407,008 (平成24年度から繰越事業) 屋内運動場は、平成16年度耐震診断調査により、早急に改築が必要となり、文部科学省の交付金事業を活用して、部室の併設及び外構工事等も含めた安全な教育環境施設とするため整備する。 鉄骨造平屋建て 延べ床面積1246.93㎡、太陽光発電 20kw。 ・工事監理業務委託 8,274 ・既存解体工事 11,020 ・建築主体・太陽光発電工事 342,965 ・機械設備工事 12,915 ・電気設備工事 27,962	4.0	・教育活動を重視した明るい機能性をもつ施設となり、教職員・生徒も大変満足している。 ・突然の制度(安全基準)変更に対応し工期も予定通り終了した。 ・すばらしい屋内運動場が完成した。大いに活用し成果をあげてもらいたい。

中項目 政策:24 青少年の健全育成
 施策:38 健全育成支援体制の強化充実 担当課 生涯学習課

小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
青少年対策事業	18,034 青少年育成推進事業・ジュニアリーダー養成事業・各種子ども祭り開催事業・放課後子ども教室推進事業・成人式挙行事業・青少年健全育成推進団体補助事業・青少年育成カウンセラー設置事業等を実施し、心身ともに健やかな次代を担う青少年の健全育成を図った。 ○青少年育成推進会議運営事業 1,733 青少年育成推進員報償、広報「南アルプスの青少年」・青少年健全育成のためのチラシ(夏冬)印刷折込、「家庭の日」啓発作品の参加賞・記念品、子ども110番看板他経費 ○ジュニアリーダー養成事業 609 「ハヶ岳少年自然の家」を利用しての1泊2日の研修経費(8月8日～9日 児童生徒71名参加) 中学生(19名)を対象にした月1回の研修経費 ○各種子ども祭り開催事業 953 八田子ども綱引き大会120、青少年桃っ子祭り285、芦安子ども夏まつり60、若草三世代ふれあい祭り108、楡形三世代ふれあい祭り200、甲西子ども祭り180 ○放課後子ども教室推進事業 314 学生ボランティア・ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブを活用して市内5カ所の児童館においてヒップホップダンス・サッカー教室・英会話教室等を実施した。 ○成人式挙行事業 979 会場設営、プログラム作成、CATVモニター委託料他(成人者への記念品は廃止している) ○青少年健全育成推進団体補助事業 5,985 ・ 青少年育成南アルプス市民会議 360 ・ 6地区青少年育成地区民会議 4,480 ・ 市子どもクラブ指導者連絡協議会 437 ・ 南アルプス警察署管内少年補導員連絡協議会 328 ・ キッズタウン南アルプス(南アルプス青年会議所へ) 380	3.4	・ジュニアリーダー事業のあり方の変更で中学生がリーダーとなり小学生と共に研修を行うことはとても有意義である。 ・市民会議と地区民会議が連携して取り組む活動に期待したい。 ・各地区で伝統的に取り組んできた活動については継続していただきたい。

中項目 政策:25 文化づくりの推進
 施策:39 歴史・伝統文化の振興

担当課:生涯学習課

小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
文化振興推進事業	6,878 ○社会教育関係文化団体活動支援事業 地域の伝統芸能の継承及び保存に努め、また活動を通じて地域の文化振興の推進を図った。 ・太鼓団体(夜叉神太鼓、甲州遠光太鼓、長清太鼓) 183 ・小笠原長清公顕彰会 2,500 (礼法講座、出前講座、基礎講座、流鏝馬事業、臨地研修等の開催。) ○市文化協会活動支援事業 市文化協会の自主的な活動により芸術文化及び生活文化の向上を図り、地域文化の振興等に努めた。4,195 ・市民文化祭事業(5地区開催) ・市内陶芸施設維持管理事業(八田、甲西) ・文化協会協力事業 ・ふるさと再見ガイドツアー開催事業(上八田地区) ・市文化協会活動支援事業 文化協会会員 2,129名 ・市文化協会専門部活動支援事業 文化協会専門部 112部	3.0	・文化協会活動の事業改善も視野に若年会員の加入増加を図ることが必要である。 ・各会とも充実した文化活動が行われすばらしい発表や作品が多い反面、若年層の会員拡大が課題である。

中項目

政策:25 文化づくりの推進
 施策:39 歴史・伝統文化の振興

担当課 文化財課

小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
文化財保護事業	8,963 豊かな自然と共に貴重な文化遺産を後世に残すため、市内の指定文化財の保護を行った。また学校教育や生涯教育と連携しながら文化財の活用及び広報紙等を通じて啓発事業を実施した。 ○実施事業 ・国史跡 将棋頭・石積出、県指定物見塚古墳他の維持管理(草刈等) 1,014 ・長谷寺本堂(国指定)防災設備点検事業補助 11 ・国指定文化財「三恵の大ケヤキ」薬剤散布、枯れ枝の伐採等 267 ・県指定天然記念物 「鏡中条のゴヨウマツ」害虫防除事業補助 18 ・ 「宝珠寺のマツ」害虫防除等事業補助 77 ・ 「宝珠寺のマツ」倒木回避等事業補助 279 ・文化財防火デーの一環として、久本寺(白根地区)、長谷寺(八田地区)での防災訓練に謝礼 10 ・指定文化財管理報償金の交付(131件)他 1,063 ・市指定文化財「沢登六角堂」屋根棟瓦修理事業補助 88 ・市指定天然記念物「清水の夫婦ケヤキ」保存修理事業補助 97 ・市指定文化財説明看板設置事業 取替え2基 90 ・芦安文化財マップ作成事業 200 ・高尾集落地域資源活用事業 1,322 高尾集落でのボランティアによる古道整備他、高尾内のガイドツアー、古道を歩く夜祭提灯ガイドツアーなどを実施した。 高尾集落や古道沿いの石造物などの文化資源の分布調査を行い、これらを入れ込んだガイドマップの印刷や石標を兼ねた情報発信板を作成した。 ・古文書調査1件 ・教育普及事業実施(学校及び一般講座) 実施事業244事業 参加人数11,438名 ・普及啓発事業実施 広報南アルプス掲載11回 南アルプスふるさとメール掲載11回 ・インターンシップ受け入れ事業実施(高校生1名) ・石積出駐車場周辺夜間警備 136 ・石積出駐車場用地借地料 340	4.0	・文化財保護に努め、普及啓発を積極的に行っている。 ・文化遺産を保護すると共に学校教育・生涯教育に多大に貢献した。また、町づくりの一貫としても役割を果たしている。

中項目 政策:25文化づくりの推進
 施策:39歴史・伝統文化の振興

担当課:文化財課

小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
埋蔵文化財調査事業	<p>24,260</p> <p>埋蔵文化財は、郷土がどのように歴史をたどって成り立っているかを知る重要な手がかりとなる。本市の埋蔵文化財についても同様で、重要であり発掘調査と保存に努めている。</p> <p>○実施事業</p> <p>史跡整備事業 2,570</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国指定史跡御勅使川旧堤防を適切に保全し広く活用を図るため、保存管理計画策定委員会において保存活用計画を策定し、計画書を刊行した。H24～H25の2ヶ年事業。 <p>市内試掘確認調査事業 8,857</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財調査及び照会事業:遺跡有無等の照会618件、試掘確認調査実施21件、工事立会実施86件、本調査実施 3件。平成24年度試掘調査報告書の刊行。継続して調査を実施してきた榊形堤防の国史跡追加指定について、国、県との協議の上、文部科学大臣に意見具申を行った。 ・分布調査事業 <ul style="list-style-type: none"> 石積出四番堤:調査の結果、堤防の構造、規格が明らかとなった。 古墳:除草作業を実施し、古墳の現況を確認した。 <p>埋蔵文化財保存活用事業 2,833</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡10周年記念シンポジウム「てっ、すげえじゃんけ将棋頭・石積出！」の開催。2日間に亘り実施。2日目は午前中展示体験ブース、午後シンポジウムを行ったが、通常のシンポジウムではなく、文化財課と連携をとって活躍される市民グループに大勢登壇していただく異例のイベントとした。シンポジウムの様子は文化庁の広報紙でも取り上げられるほど注目され、記録集も作成している。御勅使川旧堤防体験ウォーキングも史跡10周年記念事業の一環として実施し、雨天であったが46名の参加者で行った。 ・国内初となる取り組み「MなびAR」(昨年度開発)は拡張現実(AR)機能によって現地で地下にある遺構を360°のぞき見ることができるアプリケーションであるが、今年度はマーケット上に公開し、現地にはマーカーを設置、またチラシも作成し周知に努めた。 ・遺跡情報発信板を追加作成した。 ・埋蔵文化財等広報資料作成事業 <ul style="list-style-type: none"> 「南アルプス市の甲斐源氏」を作成。全16頁フルカラーで市内の甲斐源氏の足跡を紹介。全て職員による手作りで行い経費を削減した。 ・埋蔵文化財の体験学習イベントをふるさと文化伝承館で実施した。参加者210名 ・体験学習用教材:市内遺跡から出土した土器の体験学習用レプリカを作成した。 <p>埋蔵文化財調査受託事業 10,000</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査受託事業 <ul style="list-style-type: none"> ・前御勅使川堤防址群 <ul style="list-style-type: none"> 県中北農務事務所の圃場整備に伴う前御勅使川の堤防址を検出 ・野牛島・石橋遺跡 <ul style="list-style-type: none"> 民間の宅地分譲に伴う平安時代後半の住居址、中世の墓坑等を検出 ・東出口遺跡 <ul style="list-style-type: none"> 民間の宅地分譲に伴う平安時代の集落址等を検出 	4.2	文化財への認知度を高め、振興に努力し、広く市民へのアピールを行っている。特に史跡10周年記念シンポジウムは市民と共に作り上げすばらしかった。

中項目

政策:25文化づくりの推進
 施策:39歴史・伝統文化の振興

担当課:文化財課

小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
文化財調査事務所管理費	9,460 文化財調査事務所(ふるさと文化伝承館)は、発掘された出土品を保管あるいは展示し、また、発掘調査された遺跡の報告書作成及び出土品の整理を目的としている。ふるさと文化伝承館は、地域の歴史、文化遺産や資源情報等を収集保管し整理研究しその展示や体験学習などの教育普及活動の役割と文化財施策の中核となる施設として活動している。 ・入館者数 6,379名 ○実施事業 ・ふるさと文化伝承館の維持管理 8,248 ・スタッフ賃金 1,212 ・文化財の公開展示(鋳物師屋遺跡出土品などの公開展示) ・体験学習(常時) ・体験学習教室:エントラス展「フルーツのルーツ」関連イベントを2回開催するとともに、夏休み中には夏休み限定の体験メニューを特集したチラシを配布し、体験への参加を促した。 来館者の減少する1月から3月には毎週土・日曜日に土器作り教室を実施した。 ①「フルーツデコを作ろう！」教室 ②「野菜ソムリエとコラボ 親子でクッキング！」教室 ③「ミニチュア縄文土器野焼き」教室 ④週末はミニ土器づくり教室(雪のため中止が多く、計4回実施) ・伝承館で夏まつり(185名参加、縄文・古代体験、工作を中心) ・夏休み限定体験メニュー ①南アルプスのミニフルーツデコづくり体験 ②ミニ土偶ちゃんの色塗り体験2 ・伝承館エントラス展(企画展5回) ①「祈りのよこがお」展 ②「フルーツ王国南プスのルーツ」展 ③「南アルプスの子宝伝説」展 ④「水が紡ぐメモリー」展 ⑤「ふるさとを想う心ー尾張藩士 野呂瀬主税助と十日市ー」 ※エントラス展については伝承館に入館するとすぐ目を引く場所に展示し展示物については手作りに対応している。 ・カブトムシのようちゅうおゆずりします！開催 約 800匹 ・南あるぷす史学講座 「ふるさとを想う心ー尾張藩士 野呂瀬主税助の生涯」	4.2	・工夫された体験教室を行い、参加者の拡大に大変努力している。 ・各地域向けまた児童向けのイベントが更に充実し多くの市民が文化歴史に親しむ機会を設けている。 ・遺跡・出土品という地味な課題を工夫して興味を引く展示やイベントに仕立てている。

中項目

政策:25文化づくりの推進
 施策:39歴史・伝統文化の振興

担当課:文化財課

小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
安藤家住宅管理費	5,741 国重要文化財「安藤家住宅」の施設運営維持管理事業 ・安藤家一般公開観覧者数 4,591名 ○実施事業 ・安藤家住宅の維持管理 3,657 ・安藤家住宅スタッフ賃金 1,440 ・安藤家住宅来館者用駐車場借上げ料 200 ・展示企画イベント事業 444 ①安藤家住宅の雛飾り(関連イベント ・気軽に茶道体験講座 ・安藤家住宅で箏演奏と朗読会) ②安藤家住宅の端午の節句飾り ③安藤家住宅で七夕飾り ④安藤家住宅で昔あそびとお話会(夏休みイベント第1弾) ⑤安藤家住宅でちょっとこわい夏の夜話(夏休みイベント第2弾) ⑥安藤家住宅で琵琶語り部の会ー真夏の夜のレクイエムー (夏休みイベント第3弾) ⑦安藤家住宅で秋祭り(昼の部 夜の部) ⑧桜井実作品展ー安藤家の四季ー ⑨安藤家住宅ライトアップ ⑩安藤家住宅でミニ門松作り ※その他、地元西南湖区では文化展を開催し地域の文化交流の場になった。	4.0	・地域の方々との連携を大切にしながら、国の重要文化財の維持管理に努めていてとても素晴らしい。 ・多彩な企画が実施された。

中項目 政策:26 スポーツ・レクリエーションの振興
 施策:40 スポーツ・レクリエーションの活動の推進 担当課:生涯学習課

小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
保健体育総務 管理事業	90,413 市民スポーツ・レクリエーションの推進に中心的役割を担う(公財)南アルプス市体育協会、スポーツ推進委員及び、市民のスポーツ活動の支援を行った。 ○スポーツ推進委員の活動を支援する事業 5,936 (ウォークラリー・スポレック交流・スポーツラリーの各大会を開催し、市民延べ400名余が運動しながら交流した。また、高齢者健康スポーツ教室、スポレック教室を開催し、運動する機会の少ない市民が心地よい汗を流した。) スポーツ推進委員報酬3,080、各種大会等賞品124、研究大会等旅費286、需用費1,763(各種大会等事務消耗品・推進委員ユニフォーム・スポーツ推進委員だより・大会チラシ他)、大会参加者保険料等188、研究大会等駐車場使用料9、負担金486(研修会等参加負担金・峡中地区スポーツ推進委員協議会法令外負担金) ○南アルプス市体育協会支援事業 ・南アルプス市体育協会事業費補助 15,967 (地区体育協会・競技専門部等支援、市民体育祭、スイミングフェスティバル、チビリンピック等を開催) ・南アルプス市体育協会運営費補助 5,100 (事務機器賃借、消耗品、各種手数料) ・南アルプス市体育協会人件費補助 61,460 (事務局長1名、職員9名の給与) ○県外スポーツ大会出場支援事業 ・県外スポーツ大会出場補助 1,541 (延べ16団体の市民が山梨県の代表として、県外大会で活躍した。) ○南アルプス市ホームタウンゲームの活動支援事業 226 ・ヴァンフォーレ甲府、山梨クィーンビーズホームタウンゲーム時の激励品等 ○山梨県体育協会法令外負担金182	3.2	各種大会を市民が活躍し成果をあげている。

中項目 政策:26 スポーツ・レクリエーションの振興
 施策:40 スポーツ・レクリエーションの活動の推進

担当課:生涯学習課

小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
スポーツ振興 推進事業	20,792 市民の体力向上、健康増進及び生きがいをづくりのため、市民のスポーツ参加を促進する各種事業や、本市の特色あるスポーツであるホッケー競技を推進する事業を行った。 ○小中学校ホッケー指導者派遣事業 2,183 ・小中学校へNPO山梨スポーツアカデミーから外部指導者を派遣 ○市ホッケー大会運営事業 521 ・小学生ホッケー交流大会を夏・秋2日間開催した。 ○全国スポ少ホッケー交流大会参加事業 1,630 ・小学生男女2チームが8/8～12 秋田県羽後町で開催された大会へ参加 (男子:白根百田小、女子:白根百田小) ○桃源郷マラソン大会活動支援事業 ・第11回桃源郷マラソン大会実行委員会補助金 13,793 (4/14開催 申込7,211名) ○各種スポーツ教室開催事業 587 ・初心者スポーツ教室募集チラシの印刷代及び新聞折込料 ・初心者スポーツ教室としてスキー教室を実施 (1/11開催参加者28名) ○スポ少甲西市民グラウンド使用料 159 ○グラウンドゴルフ用具等消耗品 170 ○平成26年度全国高校総体(ホッケー競技)開催事業 ・開催事業負担金 1,750	3.0	本市で推奨しているホッケー種目について今後の方向性を検討すべきである。

中項目 政策:26 スポーツ・レクリエーションの振興
 施策:40 スポーツ・レクリエーションの活動の推進 担当課:生涯学習課

小項目	実績 (単位:千円)	評点	意見
体育施設維持 管理事業	54,177 社会体育施設及び、学校体育施設の一般開放業務や施設の維持管理等を行い、市民のスポーツ・レクリエーションの振興に務めた。 ○社会体育施設維持管理事業 ・八田農業者トレーニングセンター修繕(消防設備等) 664 ・白根B&G海洋センター修繕(浄化槽蓋・枠) 590 ・橿形西体育館修繕(自動火災報知設備・外壁等) 1,559 ・橿形北体育館修繕(自動火災報知設備・電動暗幕) 932 ・橿形テニスコート修繕(補充砂、ラインテープ) 479 ・甲西市民総合グラウンド修繕(ネットフェンス) 345 ・スポーツ施設借地料(今諏訪スポーツ広場等) 638 ・体育施設利用者駐車場用地借地料(4筆 4,395㎡) 971 ・甲西市民総合グラウンド(東側)防球ネット設置工事設計監理業務 委託料 473 ・甲西市民総合グラウンド(東側)防球ネット設置工事 8,778 ・その他経費(消耗品、光熱水費等) 329 ○社会体育施設指定管理事業 ・白根B&G海洋センター(株フィット) 23,000 ・甲西市民総合グラウンド・体育センター(NPOトラベッソスポーツクラブ) 2,740 ・橿形総合体育館(市体育協会) 4,221 ・若草グラウンド・若草体育館等(市体育協会) 5,024 ・芦安プール・八田屋内運動場等(市体育協会) 3,436	3.4	
体育施設整備 事業	200,308 市民が安全で気持ちよくスポーツ・レクリエーション活動が行えるよう、社会体育施設の維持整備等を行った。 ○橿形総合体育館大規模改修事業 ・橿形総合体育館大規模改修工事設計業務委託料 9,713 ○白根B&G海洋センター プール改修事業 ・白根B&G海洋センター プール改修工事 設計監理業務委託料 483 ・白根B&G海洋センター プール改修工事 12,012 (ステンレス缶体の内側シート全面張替え、オーバーフロー部等の塗替え。) ○若草体育館大規模改修事業 ・若草体育館大規模改修工事監理業務委託料 2,625 ・若草体育館大規模改修工事 175,476 (屋根張替え、外壁張替え及びクラック補修、床一部張替え、サンダー掛及びウレタン塗装、アリーナ照明電球取替え、火災報知設備・消火設備入替等を行った。)	3.2	